

平成22年第2回定例会
全員協議会 提出資料

1 伊勢庁舎整備の全体計画について

平成22年11月25日

総 務 部

県 土 整 備 部

伊勢庁舎整備の全体計画について

平成22年11月25日
総務部
県土整備部

1 工事の概要

(1) 本体工事の契約済状況

工事の種類	工期	契約金額(税込)	事業者名(JV構成企業)
建築工事	H21.02.24~H23.03.31	19億7,925万円	・(株)ナカノフドー建設 三重営業所 ・丸亀産業(株) ・(株)日本屋
機械設備工事	H21.01.21~H23.03.31	4億5,465万円	・三機工業(株)三重出張所 ・シフォニアエンジニアリング(株) ・杉山設備(株)
電気設備工事	H21.02.24~H23.03.31	3億6,435万円	・川北電気工業(株)三重営業所 ・大東電気(株) ・(株)植田電気工事事務所
計		27億9,825万円	

(2) 工事の経緯

【平成20年度】

- 1月21日 機械設備工事請負契約締結
- 2月24日 建築工事請負契約締結の議決
電気設備工事請負契約締結の議決

【平成21年度】

- 10月28日 基礎工事着手(ウェルポイントによる地下水強制排水)
- 11月16日 隣接地住民からひび割れ等の苦情が寄せられる。
- 12月4日 工事施工一時中止(4月28日まで)
- 12月~3月 住民説明会開催(第1回~第5回)
地質調査、原因特定調査

【平成22年度】

- 4月~7月 住民説明会開催(第6回~第10回)
- 4月29日 工事施工一時中止期間延長(11月30日まで)
工期延長(平成23年3月31日まで)
- 5月30日 補償関係調査開始(用地測量、建物調査、不動産鑑定評価)
(~9月) 補償関係調査終了

- 7月 1日 工事施工一時中止の変更
関係住民の理解を得て、基礎工事に部分着手
- 8月 中旬 住民との移転補償事前交渉（第1回）
- 9月 中旬 住民との移転補償事前交渉（第2回）
- 9月27日 伊勢庁舎整備に係る移転補償費補正予算提案
- 10月18日 伊勢庁舎整備に係る移転補償費補正予算可決成立
- 10月 下旬 住民との移転補償交渉・工事再開の合意
- 11月15日 工事再開

(3) 追加工事費の見込み

住宅解体費	2,500万円
駐車場整備費（法面補強）	5,100万円
駐車場整備費（整地舗装）	1,600万円
合計	9,200万円

(4) 全体事業費

I 当初全体事業費	42.3億円
① 本体工事費	28.0億円
② 附属棟建築工事等	5.1億円
③ 設計等委託費	1.9億円
④ 用地購入費	6.0億円
⑤ 備品・事務費	1.3億円
II 増額要因	4.8億円
① 住民移転補償費	3.9億円
② 追加工事費	0.9億円
III 減額要因	△1.9億円
① 土地建物売却	△1.9億円
IV 最終全体事業費（見込み）（I + II + III）	45.2億円

(5) 住民との交渉状況

被害を受けられた地権者等11名のうち、11月19日時点で9名の地権者等と合意に達し、移転補償契約を行うことが出来ました。

残る2名の地権者とは合意に達していませんが、工事の再開については理解を得ることが出来ました。今後も、年度内の合意を目指して、交渉を続けていきます。

(6) 工事の今後のスケジュール

住民との話し合いの中で、被害の拡大を防ぐため地下部分の工事に限るとの条件のもとで、7月1日から本館の基礎・免震層、1階床及び別館基礎工事を行ってきました。その後、被害を受けられた住民の方々の理解が得られたため、11月15日に工事を再開しました。

11月15日以降のスケジュールについては、別紙1の1スケジュールのとおりで、平成23年9月末の竣工を見込んでいます。

※ 工事現場の状況は、別紙1の2工事現況写真のとおりです。

2 取得用地の活用方策

(1) 庁舎の駐車場の現状

伊勢庁舎では、慢性的な駐車場不足に悩まされており、218台分の民間駐車場を借上げ、全体で543台分を確保しています。

(2) 当初の駐車場整備計画

新庁舎完成後の駐車台数については、これまでの使用実績等を勘案のうえ、公用車台数、外来用駐車台数や職員駐車台数を見直し、全体で495台分が必要と見込んでいます。

新庁舎の周辺と旧庁舎跡地を駐車場として整備してもなお不足するため、163台分の民間駐車場を借上げる方向で進めてきました。

(3) 取得用地の活用

新庁舎完成後も必要な駐車台数を確保するためには、民間駐車場を借上げる必要があります。今回購入した用地については、来庁者の利便性の確保や民間駐車場の借上料節減を図るため、「駐車場」として活用したいと考えています。

なお、約50台分の駐車場が確保できる予定です。

※ 詳細は、別紙1の3伊勢庁舎整備に伴う配置図、4駐車場整備計画図を参照してください。

3 責任の所在

10月1日付で発足した「伊勢庁舎問題特別調査チーム」において、責任問題について調査、検討を行ってきました。県においては、契約事業者である建築JVにも応分の負担を求め、協議を行ってきましたが、建築JVは今回の事故と工事の因果関係そのものを否定していることから、現時点では合意が成立していません。

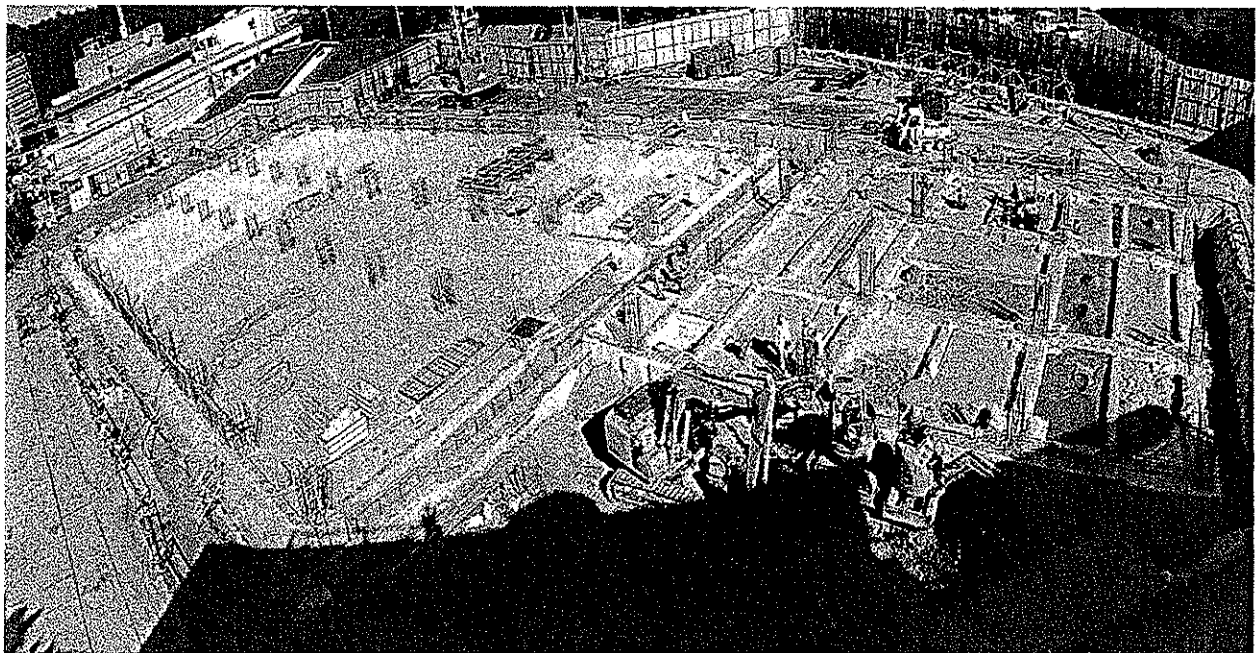
今後も、弁護士や学識経験者からの意見を参考にしながら検討を行い、速やかに責任の所在を明らかにしたいと考えています。

別紙 1

1 スケジュール

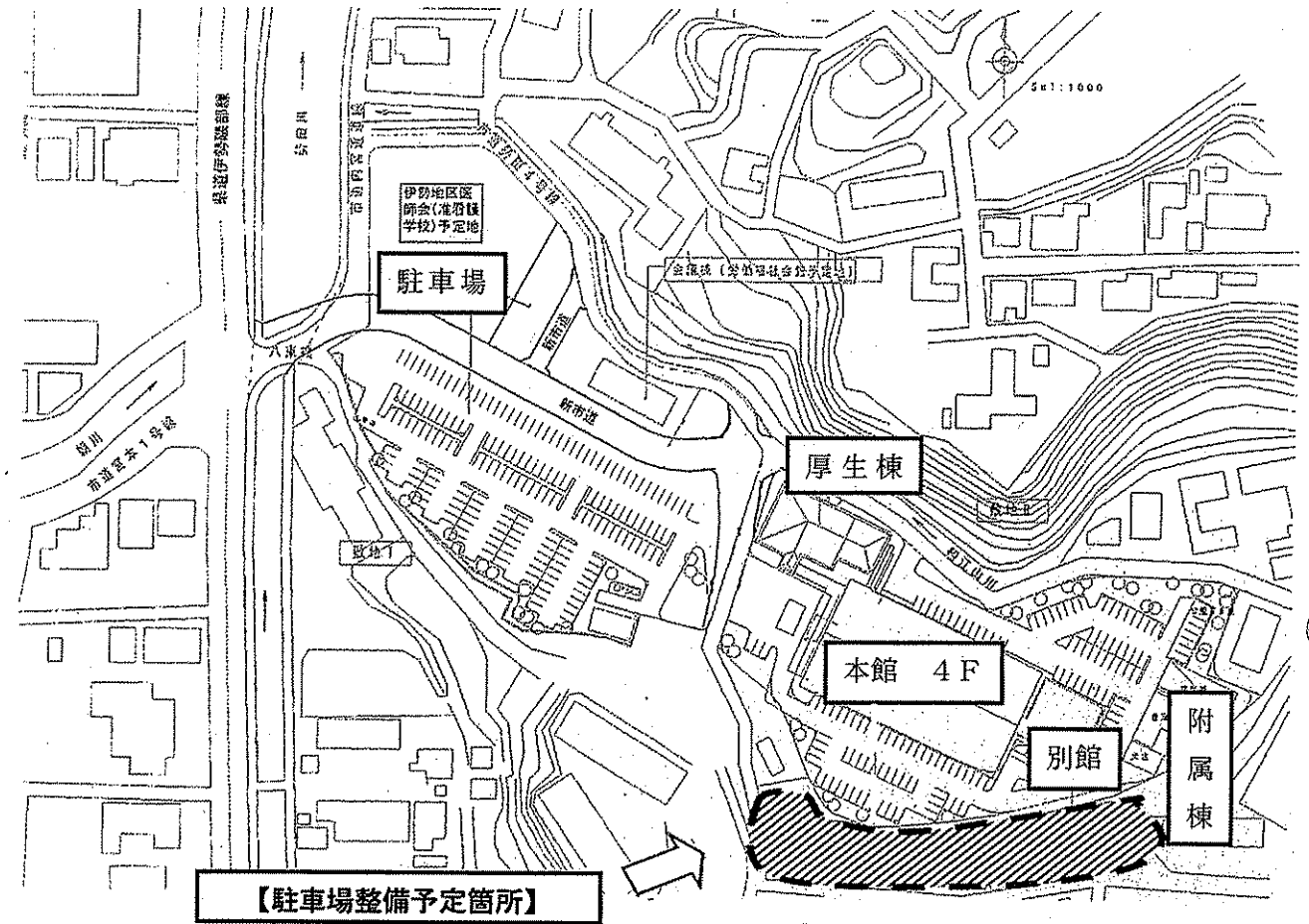
年	H22年						H23年											
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月			
本館工事	基礎・免震層																	
							躯体工事											
										仕上工事								
別館工事							基礎											
										躯体工事								
													仕上工事					
外構													仕上工事					

2 工事現況写真



(平成22年11月11日撮影)

3 伊勢庁舎整備に伴う配置図



4 駐車場整備計画図

